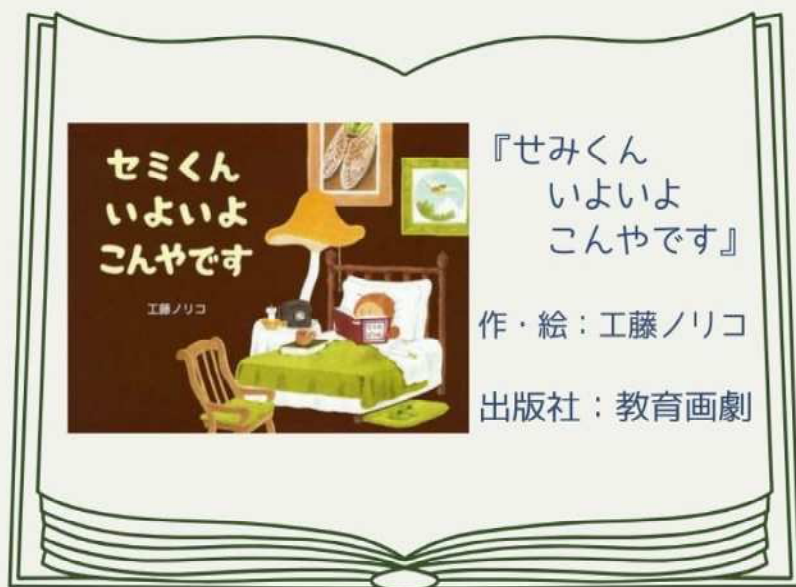
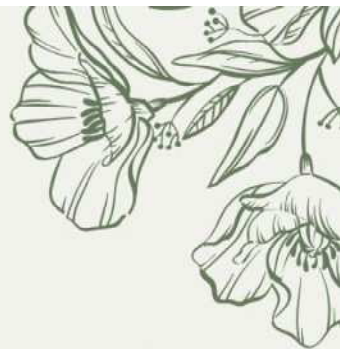


大好き！絵本 初瀬 恵美



今年は、梅雨明けが早く、すでに過酷な暑さとなっていますね・・・。

園では、今年もカブトリウムから沢山のカブトムシが生まれて、こどもたちに大人気となっています！

カブトムシの人気の押されて、少しマイナーなセミは、もうすぐうるさいくらいになき始めることなのでしょうね。

今回は、そのセミの羽化に焦点をあてた絵本をご紹介しますと思います。

絵本の紹介の前に、皆さんはセミの羽化するときをご覧になられたことはありますか？セミは、カブトムシや蝶と違って蛹にはならず、不完全変態という成長の仕方をするため、幼虫から直接成虫になります。そのため、よく見るセミの抜け殻のあの形で、土の中を歩き回り、成虫になるとき土から木へのぼり羽化します。

さて、そんなセミくんが主人公のこの絵本。ある日寝ているセミくんのところへ、カブトムシのおじさんから、電話が入ります。眠そうにしながらセミくんは「ええ、そうです、いよいよこんやです」とこたえました。それをきいたカブトムシのおじさんは、急いでミツバチくんに「いよいよ こんやだって」と電話を入れました。電話を受けたミツバチくんは、アオムシちゃんに、アオムシちゃんは、スズムシさんに、スズムシさんは、ホタルさんに次々と電話をかけました。そして、電話を受けた虫さんたちは、お料理を作ったり、なぜか筋トレをしたり、演奏の練習をしたり、打ち合わせをおののし始めました。

なぜなのでしょうね・・・？そうです。セミくんが、いよいよ、地上に出てくると聞いて、パーティーの準備を始めたのです。セミくんは、夜の7時の目覚ましで起きて、地下のおうちに別れを告げ、地上へとあがっていきました。そしていよいよ・・・羽が生え飛ぶことができたセミくん！ そんな、セミくんを囲んでみんなでパーティが行われました。その素敵なこと。

そして、翌日セミくんは元気よく「ミーン ミーン」となきながら「いきているって うれしいな」とつぶやきます。私は、この絵本の中でこの言葉の登場が一番好きです！声に出して絵本を読んでいると特にそう感じます。 今年は、木にとまって、ないているセミをみたときに、土の中での暮らしを想像してみたり、外にでてきて、飛べるようになった喜びに思いを馳せる体験が、子どもたちの中でできたらいいなと思い、この絵本を紹介させていただきました。

